

施設評価シート（一般）

（平成21年度事業）

施設名	備前市歴史民俗資料館		問合先	担当課(室)	生涯学習課	
			職・氏名	係長 石井啓		
			電話	0869-64-1841		
所在地	備前市東片上385		所属長職・氏名	課長 末長章彦		
			このシート作成に要した時間		7.0 時間	
建物建設費	62,936 千円	財源	国県等補助金	千円	建設年月	平成 26 年 月
		市債・一般財源等	62,936 千円	耐用年数	24 年	

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市歴史民俗資料館設置条例	
総合計画上の位置付け	基本目標 03	地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策 03	歴史と文化の輝くまちづくり
	施策 01	文化芸術の振興	事務事業名 02	歴史民俗資料館管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 備前市の歴史・文化などに興味のある人すべて。		
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 郷土に関する資料の収集・調査・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解や文化財への認識を高める。		
施設内容 規模 料金体系	施設内容	規模	料金体系(直近の改定:平成 年 月)
	木造瓦葺地上2階	延床面積433.62㎡	
	セラミックス関係展示室	59.49㎡	
	企画展示室	44.41㎡	
	展示準備室	9.91㎡	
	書庫	9.91㎡	
	事務室	18.17㎡	
	玄関ホール	29.74㎡	
	民俗関係展示室	59.49㎡	
	文芸関係展示室	22.72㎡	
収蔵庫	66.02㎡		
管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 (指定管理者名 又は 一部委託の内容) <input checked="" type="radio"/> 一部委託 警備委託 <input type="radio"/> すべて直営		
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし (施設名及び施設の概要) <input checked="" type="checkbox"/> 本市所管 備前市加子浦歴史文化館・備前市吉永美術館 <input type="checkbox"/> 近隣市町・民間その他		

経費	項目	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.1 人	770	0.1 人	496	人	368
		臨時職員				人		人/千円
費	指定管理料							千円
	維持補修費		194		192		169	千円
	物件費		1,590		1,488		6,098	千円
	その他()		7,198		7,369		6,553	千円
	減価償却費		2,360		2,360		2,360	千円
	合計		12,112		11,905		15,548	千円
財源	特定財源	使用料	0		0		0	千円
		その他	0		0		3,796	千円
	一般財源		9,752		9,545		8,699	千円
	指定管理者の利用料金収入等							千円
	年間利用者数		2,561		2,372		2,748	人
	利用者1人当たりコスト(一般財源)		3,808		4,024		3,166	円
	受益者負担率		0.0%		0.0%		0.0%	%

稼働実績	平成21年度 (単位:日・人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	21	24	25	27	26	23	26	24	23	23	23	25	290
	施設名等	176	194	212	542	487	230	225	193	116	128	111	134	2,748
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												

施設の妥当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？	
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由 歴史民俗資料館の利用者数は前年度対比で約400人弱増加しており、ニーズが薄れているということはない。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？	
	<input type="radio"/> 設置すべきである <input checked="" type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由 設置が義務付けられている施設ではないが、市民に郷土の歴史や文化について情報を発信したり、貴重な歴史資料等を保存していくことは市としての役割である。
施設の廃止した場合の市民生活への影響は？	影響が大きい <input checked="" type="radio"/> 影響はほとんどない	
	判断理由 市民生活に直接関わるものではないため、廃止した場合直接的な影響はないが、総合計画の基本目標「歴史と文化と人が輝くまちづくり」に大きく反する。	

施設の効率性	施設の利用状況は順調か？	
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 順調でない	判断理由 21年度は前年度対比で約400人ほど増加している。
	受益者負担は適正か？(施設の性質別に設定されている負担割合と比べてどうか)	
	<input type="radio"/> 適正である <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由 現在入館料は無料となっているので、見直す余地は十分にある。
	類似施設との統合可能性はあるか？	
	<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由 類似施設はあるが、どの館も資料を多く保管している。どこかの施設に統合となれば、貴重な資料が散逸したり劣化する可能性もある。もし、統合するならば、博物館法に適合した耐震耐火施設を前提にした議論が必要。
管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？	削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	
	判断理由 雇用創出事業等を利用して収蔵品の管理を行うなど毎年コストについては見直しを行っており、これ以上削減を行うことは難しい。	

平成22年度の状況及び管理運営の改善案	事業については、国民文化祭や定住自立圏に合わせて企画展の開催している。管理運営については、コストの削減に努めている。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成23年度から平成27年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由 平成21年度はワークショップや企画展のため利用者が増加し、23年度は国民文化祭などで入館者増が見込まれる。今後は平成23年度から計画している「備前市歴史文化構想」の策定作業の中で、備前市全体の文化施設のあり方を考えていく必要がある。
----	---	--